

# 令和7年度 青森県立八戸西高等学校 スポーツ科学科1学年特別授業

## 地域の子ども達とのスポーツ交流会(11月)～スポーツって楽しいを感じて欲しい～

実施年月日:令和7年11月11日(火) 13:30～15:05

実施場所:本校第一体育館、本校第二体育館

概要:地域の小学校との交流を通して、児童の運動に対する意欲を高めて運動に親しむ契機になることを目指す。また、将来指導者を目指すスポーツ科学科の生徒が実施者の年齢に適した運動を考える能力を養い、実践を通してスポーツ指導者としての資質を育成する。

対象:八戸市立三条小学校5年生



## スポーツ科学科生徒の感想

北村 悠惺(三戸中学校出身・陸上競技部)

三条小学校の皆さんと交流して、いろんなことを学びました。私は陸上競技について教えたのですが、自分たちは毎日当たり前に行っていることでも、小学生だとそれが難しかったりするということを知りました。他にも、どのような語句を使ったらわかりやすく伝わるか、逆に小学生が知らないような語句を使っていないかなど、気をつけてやらないといけないということも学びました。今後もこのような体験ができる時が来たら、この交流で学んだことを活かしてやりたいなと思いました。

工藤 陽向(根城中学校出身・硬式野球部)

三条小学校の皆さんと交流していろいろなことを学ぶことができました。自分は野球を教えていましたが、野球に来る人にも個人差があり、できる人とできない人、野球が好きな人、好きじゃない人がいました。その中でみんなに楽しんでもらうためには、その人に合った教え方や話し方をすることが大切ということを知りました。これからは、この経験を活かし、その人に合った話し方や教え方をするように心がけたいです。

八重畑 凜音(下長中学校出身・バスケットボール部)

三条小学校の子達がとても素直でいい子達だと思いました。小学生が高校生を怖いと思わないように、声の明るさを変えたり、言葉遣いを丁寧にしたり、話しかけたりして小学生と話すようにしました。できない子達にはバスケ部の人や補助の人が教えました。用具の片付けや準備もしてくれてよかったです小学生のおかげで色々なことに気づけてよかったです。これからはこの経験を活かして部活動や勉強、日常生活を頑張ろうと思いました。

市村 惺矢(下田中学校出身・サッカー部)

三条小学校のみんなと交流し、たくさんのことを学びました。三条小学校の子達は、話を静かに聞いてくれ、教える側としてもスムーズに進めることができました。私は、サッカーについて教えていましたが、できる子とできない子の個人差が激しく、どのようにしたらみんなが楽しく活動することができるか、わからない子に対してどのように説明したらわかりやすいか考え活動しました。さらに小学生でもわかるような言葉遣いや、説明をすることが難しかった。この経験をこれからの活動や交流に活かしていこうと思いました。

西村 結空(白銀中学校出身・バレーボール部)

三条小学校の皆さんと一緒にリズムトレーニングをして楽しかったし、たくさんことを学ぶことができました。指導する立場になった時に、相手に対しての口調やどうしたら分かりやすく教えることができるかということを実際にやって学ぶことができました。また、八戸西高校のスポーツ科学科が目標とする将来像である3Tにも繋がっていくと思いました。私たちはこの交流会を通して、できなくても一生懸命頑張ってる小学生が印象に残りました。